

代表者名	石山 米男	所管部課名	健康福祉部子育て支援課
所在地	秋田市旭北栄町1番5号	設立年月日	昭和45年6月20日

【沿革及び県の出捐理由】

(沿革) 昭和40年代交通事故が多発し交通事故で親を亡くした児童を援護し遺児の健全な育成を図ることを目的として昭和45年6月20日設立された。
(出資理由) 愛護会の事業を育成するため出資。

【出捐者】(17年度当初)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	76,000	38.0
市町村	42	39,500	19.8
その他	1,200	84,500	42.3
計	1,243	200,000	100.0

【事業】

主たる業務

1. 災害遺児に対する、見舞金、奨励金又は入学祝い金及び卒業祝金の支給に関する事業。
2. 災害遺児に対する慰安激励並びに、調査研究及び相談に関する事業。
3. 前条の目的を達するために必要な事業。

事業実績

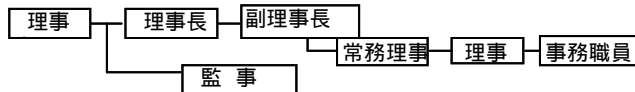
事業名等	14年度	15年度	16年度
援助給付金	3,663	3,375	4,883
災害遺児数	97	89	84

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

16年度事業概要	17年度事業計画
1. のべ107名の遺児に給付金、図書券等を交付	1 遺児に対し給付金等を支給
2. 2地区において激励会を開催	2 激励のつどいの開催
	3 理事、評議員による事業運営の検討

【組織】

運営機構



役員数

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		9		2
内、県OB		1		2
内、県職員		2		
計		9		2
内、県関係者		3		2

職員数

	人数	平均年齢	平均勤続年数
正職員	1		
内、県OB		56歳	
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	1		
内、県OB	1		
計	2		1.6年
内、県関係者	1		

【財務】

損益状況(16年度)

	金額
経常収入 A	7,431
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	3,963
その他	3,468
経常支出 B	8,569
人件費	2,858
その他	5,711
経常損益 C = A - B	-1,138
経常外収入	
経常外支出	
当期損益	-1,138

財務状況(16年度末)

	金額	構成比
流動資産	56,764	22.0
固定資産	201,772	78.0
資産計	258,536	100.0
流動負債	37	0.0
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等	1,772	0.7
負債計	1,809	0.7
基本金	200,000	77.4
剰余金	56,727	21.9
資本計	256,727	99.3
負債・資本計	258,536	100.0

(百万円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

(千円 %)			
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	1,772	1,772	100.0%

【県の財政支出】

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	99.40	99.36	99.30	0.04	0.06
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	193,117.86	222,661.54	153,416.22	29,543.68	69,245.32
収益性	剰余金(欠損金)	千円	54,045	57,866	56,727	3,821	1,139
	経常利益率	%	3.50	35.64	15.31	32.14	50.96
	総資本利益率	%	0.10	1.47	0.44	1.38	1.91
発展性	経常収入額	千円	7,028	10,717	7,431	3,689	3,286
効率性	総資本回転率		0.03	0.04	0.03	0.01	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	3,514	5,359	3,716	1,845	1,643
	人件費比率	%	36.92	24.79	40.44	12.13	15.65

2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	寄附金(千円)	目標		3,400	3,000	3,000
		実績	3,227	6,712	3,329	
経営改善指標	管理費比率(管理費/総支出)(%)	目標		40	46	46
		実績	46	51	43	
事業成果指標	援護給付金支給額(千円)	目標		3,700	3,600	5,600
		実績	2,840	2,690	4,538	
事業成果指標		目標				
		実績				

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

寄付金は、前年度より減少しているが、目標の300万円は超えている。管理費比率については、援護給付金の増加等により低下している。今後は、対象児童の減少を踏まえた事業の見直しや組織の強化を図る必要がある。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<p>当期において経常損益が赤字になったが、これは給付基準の引上げによるものである。今後当面の間は、資産の運用収入の増加は見込まれないため、寄附金収入の確保等、一層の努力が望まれる。</p>	